秋の拡大月間
未加入の仲間に声かけを！
10月28日まで キャンペーン中

朝志和

発行所
埼玉土建一般労働組合朝志和支部
〒351-0007　朝霞市岡 3-24-37
TEL048-462-1303　FAX048-463-7059
《発行人》朝志和支部教育宣伝部
第１７３号　定価３０円
（機関紙代は組合費に含まれています）
MAIL　asashiwa@saitama-doken.or.jp

8年連続トリプル達成めざして

9月8日（日）朝霞市民会館（ゆめぱれす）にて、第4回支部執行委員会&活動者会議が、103人の参加で、午前10時から栗田副支部長の司会で行われました。

最初に丸山副支部長が「おはようございます。9月、10月と拡大月間です。組合員130人、主婦の会会員67人、青年部10人の目標です。暑いですが体に気を付けて達成しましょう。」の挨拶後、上薗書記長から日程の提案があり、午前中は通常の執行委員会となりました。

社会保障対策部からの報告の中では、「健康診断の血液検査がなくなるのはいかがなものか。」の質問があり、「全部がなくなるのではなくガン検査のみ無くなり、代わりに（推定塩分濃度）検査が来年度から変更になる。」の答えがありました。全部の提案終了後、昼食休憩となり、午後は1時から再開となりました。

初めに9月から始まる工具盗難補償制度について（株）プロエージェントの2人の方が補償内容・加入資格と方法・保険期間等詳しい説明がされ「警察の被害届」が絶対的に必要である事の説明がありました。次に丸山副支部長が働き方改革について、自分の仕事を通して、36協定の提出や、有給休暇の年5日義務等の説明があり、次に建設キャリアップシステムの本格稼働についてと法人設立と健保適用除外について上薗書記長、井口書記次長からそれぞれ説明がありました。

秋の拡大月間の成功に向けて、名雪組織部長より現在の到達や、中間決起集会への呼び掛け、そして目標達成に向けたみんなの協力の訴えがあり、分会作戦会議に移り、統一行動日や対象者の確認など行われました。

最後に名雪組織部長、西次世代部長の団結ガンバローで午後3時30分に終了しました。

【宗岡　栗田伴春】

次世代層を中心に団結ガンバロー！

分会作戦会議の様子！

実増1%に向けて意思統一

「2019年秋の拡大月間」の全県決起集会が9月1日（日）さいたま市民会館うらわで19時15分から開会されました。全県から408人の参加で「5年ぶりの組織実増の展望をきり開き1%実増へ！」をスローガンに、上田副委員長の司会進行で始まりました。

斎藤委員長から、この間の運動に対しての敬意と感謝と労いをいただき、何としても組織実増を勝ちとる決意を込めた挨拶に続き、宮沢組織部長より「秋の拡大月間、全支部・全分会達成に向けて」の提案と訴えが行われました。

8月現勢は、3月現勢に対して増減率99・1%となり、見事、第1実増ラインを18支部が達成し、全県をけん引していると報告されました。

支部報告は、越谷支部から「継続は力」やるべきことをやりきり、すすめる拡大。加須支部から脱退数を考慮して年間拡大目標を15%に設定。狭山支部から業務活用を促進し、2年連続1%実増をめざす。と3支部から典型報告が行われました。

恒例の33支部によるきらびやかなプラカードに込めた決意表明が各支部（朝志和支部は、名雪組織部長と西次世代部長）と本部、青年部、主婦の会により行われました。

小峰副委員長の閉会挨拶に続き、渋木本部青年部長の団結ガンバローで21時終了となりました。

【和光北　田澤達好】

名雪組織部長が壇上で決意表明

前進

自分は、ドライブが好きで、房総半島を一廻りすることが有り、よく聞く地名がテレビに出ていて驚いた。いま台風15号の影響で屋根が飛ばされたり、電柱が折れたり、鉄柱も倒されたりして停電し、一時は36万世帯にのぼった▼なぜマスコミはもっと報道をしないのか。東京電力の対応にもあきれた。また福島同様に今回も想定外だったというのか？9月11日までに通電をすると東京電力は始めは言っていた。それが二転三転し、最後には、9月27日頃になると。現場の人たちが頑張っているのに▼上の人たちは何を根拠に日にちを決めているのだろうか。科学的根拠のない仕事を露呈し、あきれてしまった▼またこれほどの天災を安倍政権はすぐに手だてもしないで、自分たちの組閣にうつつをぬかしているのは、どこの国の閣僚だろうか？これは他人事ではない、われわれも同じように天災がやってくるかわからない時代だ。こんな国の政府には今後も安心して任せられない。こんな電力会社と政府が管理する原発なんて、信用できないと思っているのは私だけだろうか。

【ＨＴ】

１人ひとりにあたり目標達成へ

９月11日（水）７時30分から支部事務所３階で分会執行委員会の前に拡大成功に向けて出陣式を行いました。班長さんら役員を含めて20人で高橋分会長から、今回の拡大意義と３０００人支部に戻すため分会としても目標の14人をやりきる決意が熱く語られ、現在５人の拡大で、10月の打上式まであとひと月半しか残っていないことも言われました。

渡辺書記から祝金の一万円がしっかり手渡されました。佐藤さん夫婦に買ってきてもらったビールとおつまみ、横山さんの差し入れのコーヒー一箱をそえて皆さんに配り対象者について聞いてみましたが、なかなかこの時は出てきませんでした。「足を運んでゆく中でぽつぽつと出だしていきたい。出てきた対象者をのせていきたい、目標14人は、かなり大きいと思うが早いうちにとらえゆきたい」と話し合いました。組合員さん一人一人に当たりきる体制を役員としても作りだし、隅々から情報をかき集めて、目標達成に向けて意思統一し、８時に終了し、執行委員会に移りました。

【花の木　高橋洋】

渡辺書記より祝金を手渡される

かんぱーい！宗岡分会出陣式

今年も目標達成へ向けて

支部組織数が３０００人を切っている現状の下で、９月11日（水）午後８時から旧志木事務所で、宗岡分会執行委員会後出陣式が行われ、12人の仲間と佐藤書記次長・日野書記・本部の川崎書記が参加しました。名雪副分会長の司会で「10月28日の打上式まで、ご協力宜しくお願いします。」と始まり、佐々木副分会長が「分会活動や行事にご協力ありがとうございます。対象者の少ない中での拡大は厳しいと思いますが、やれる事をやり切りましょう。」と挨拶、続いて渡利書記長が、拡大に向けた説明、活動内容、中間決起集会の参加依頼などを話し、その後、川崎書記より援助金が分会へ手渡されました。

いよいよ乾杯です。「みんなで頑張ってやっていこう。」といつも拡大に参加している大熊副分会長の元気な声で乾杯。テーブルに並んだ料理・飲物でしばし歓談です。いろいろな話の中にも拡大に繋がる情報はないかと模索しながらの飲食は、いつも栗田副支部長の奥さん、峯村紀子財政部長の美味しい手料理の差し入れもあってアルコールも進み、この調子で拡大も進めばと願い８時50分に全員の団結ガンバローで閉会となりました。

【宗岡　佐々木剛】

目標10人達成させよう

９月10日（火）午後７時30分より根岸台市民センターに於いて、通常の分会執行委員会終了後に、秋の拡大出陣式を開催しました。出席者は12人、始めに拡大用レジュメを読み合せし、目標10人達成させるため節目標等行動計画に付いて確認しました。何しろ今秋は、現時点で対象者ゼロ。春は事業所の新従業員に助けられましたが、秋はこれがあまり期待できず、まずは自営・一人親方を中心に総当たりと意志統一されました。例年の宴会もどきの出陣式と違い、事実上拡大の作戦会議となり、有意義な出陣式となりました。

【根岸　雛田谷康明】

根岸分会出陣式の様子

早期解決を求め

「首都圏建設アスベスト訴訟」神奈川２陣第３回期日東京高裁前行動が、９月12日（木）午前９時集会で行われ全体で２５０人、埼玉土建から57人、支部から高橋稔常任、田澤アスベスト対策委員長が参加。弁護団から２０１２年５月の横浜地裁での厳しい判決から、みなさんの行動で大きな前進ができたのは、世論を動かし作業実態を明らかにしてきたこと。これが強く影響し、国に10度連続して勝訴しています。今後最高裁判決へ向けて最終盤の闘いが必要。原告からは、「早期解決を求めているが、提訴から11年となり生存原告も少なくなり、引き続きご協力をお願いします。」と訴えがありました。傍聴券の抽選に９時30分から並び、抽選後、衆議院第一議員会館へ移動し、支援集会が10時30分から始まり、ＤＶＤによる原告と家族の実態報告がありました。

統一本部より本日の内容は、３人の証人尋問が行われ柴田岩手県立大学教授の尋問では、一人親方の就労実態について学者の立場からの証言が、今後の判決に期待が持てる可能性があると報告。参議院の未賛同議員１３６人に対して、要請行動を行ない終了しました。

【和光北　田澤達好】

アスベスト報告集会

最後の訴え反消費税増税

９月12日（木）まだ間に合う消費税増税反対集会が、衆議院第２議員会館多目的会議室で開催されました。驚いたのは、この部屋の定員が２７０人なのに、倍近い人が集まり壁側後方までびっしり、廊下にはみ出す始末。演壇には立憲・国民・共産の各議員が10人同席し、各党代表が挨拶。議員の方々はその後退席しましたが、時間があったので司会者が「他に訴えのある方挙手をお願いします。」と言ったところ、発言者が次々カードやスマホ等で高齢者には縁のない不公平な税制などと訴えが止まらず、時間が来たので司会者が丁重にご遠慮願いました。続いて集まった署名を持って議員訪問です。私は新座支部の人と組み参議院を担当し、最初に公明党矢倉克夫議員を訪問。署名を受け取ってもらえないことは承知していましたが、やはり断られました。最後に日本共産党の伊藤岳議員を訪問、署名２千枚気持ちよく受け取って貰えました。

【根岸　雛田谷康明】

仲間の輪をひろげるため

訪問先で次世代部の説明

9月12日（木）に次世代層のつながりを強化・結集を広げていく為に行動に取り組みました。

西次世代対策部長、名雪組織部長、相浦賃金労働対策部長の次世代層役員が支部事務所に集まり、9月29日に行うバーベキューのお誘いを対話の切り口に次世代部の取り組みや仲間の紹介などを訴えようと意思統一してから出かけました。

訪問先は、この間行事に参加してくれた仲間や部会に参加できていない仲間、昔から付き合いのある仲間など4件を訪問し、3件の仲間と会うことができました。対話ができた仲間全員がバーベキューに参加してくれることを約束。特に顔なじみの仲間宅では、数年ぶりに話もできたこともあり大盛り上がりで話が尽きませんでした。

今回の取り組みで、西次世代対策部長は、「初めての仲間でも同じ年齢層なので話がしやすいし、相手も快く受け入れてくれた。今回、会えた仲間とはつながりができ、土建の活動に参加を働きかけやすくなったと思う。今後とも継続させていきたい」と語っていました。

【書記　渡辺絢介】

次世代層のつながり求めて

9月29日（日）に次世代部主催の「バーベキュー」を支部事務所で開催しました。

当日は、事前に訪問行動を取り組んだこともあり、今まで行事に参加していなかった初参加の仲間や一つの事業所が全員で参加してくれるなど、37人（昨年27人）の参加で大いに賑わいました。

西支部次世代対策部長より「次世代層のつながり強化や秋の拡大月間の景気づけもかね、この行事を企画しました。今日は、とことん楽しんで交流しましょう。」と挨拶がありました。バーベキューでは、根岸分会の富安次世代部長を中心に大汗をかきながら、肉を焼き笑顔で参加者に振舞っていました。参加した仲間からは、「同世代ばかりなので交流ができた」「家族で参加したが奥さんも子どもも仲間ができて楽しんでいた」「また次世代層で集まる機会を設けてほしい」など感想がありました。

最後に名雪支部組織部長より「いま拡大月間の真っ只中で、目標達成まで厳しい状況です。達成を果たすにはわれわれ次世代層の奮闘が求められています。協力をお願いします」と訴えがあり、西部長の団結ガンバロウで終了となりました。

【書記　渡辺絢介】

昨年より参加者が増えました！

カラオケで10歳は若返った

かんぱーい！宴会の様子

9月19日（木）～20日（金）で長野県上田市の鹿教湯温泉へ向けて、9時10分に集合、17人を乗せ出発しました。

田辺会長が、「待ちに待った旅行です。楽しく行きましょう。拡大も頑張りましょう。」と挨拶後、小諸市の懐古園へと向かいました。

懐古園の園内には「小諸なる古城のほとり」と島崎藤村の詩碑などがあり、記念館など見所いっぱいでした。

その後、鹿教湯温泉鹿鳴荘に着き、温泉に浸かりました。早川副会長の進行で始まり田辺会長の挨拶後、雛田谷副会長の「楽しみはこれからです。美味しいものを食べて、飲んで歌って下さい。そして拡大も忘れないでお願いします。」の乾杯挨拶後、雛田谷さんの「領収書」などの珍しい歌や、初参加の中田さんは「忍び恋」のカラオケで盛り上げてくれました。全員が歌い「10歳は若返った」と語っていました。

最後に森田副会長の「みなさん充分満足できたと思います。これからも壮葉会を盛り上げていきましょう。」と締めの挨拶で1日目は終了しました。

2日目は、生島足島神社を参拝し、ワイン工場を見学して無事帰途に着きました。

【壮葉会　渡辺幸雄】

くろすワード

正解者には抽選で5名に図書カードを進呈
宛先：支部教宣部あて　締切：二五日消印

ヨコのカギ
1 今人気……入り飲料
4 酉の市の縁起物
6 会席料理で最後に出る汁物
7 力士の名前
9 死ぬか生きるかの……問題
11 物事が周囲に及ぼす影響
12 交通遮断で「……の孤島」になる地域も
13 九州最大の歓楽街。福岡市博多区にあり
14 雑穀の一種。団子も
15 昼食です
16 外側に接続水域があります
18 回…、周…、外…
20 自分の好きなものだけ選びました。…好み
21 七五三と言えば

タテのカギ
1 欠点ですね
2 分別のないこと。…気ない
3 1万年も生きるって本当？
4 危険なことに近づきません
5 豪華なことです
8 冬の季語ですが暖かい
10 風刺画のことです
13 日本百名山の男体山。読み方「…たいさん」
14 紙を切り抜く手法の絵画
15 人類初の動力飛行に成功した…兄弟
17 江戸時代の下級武士
19 塩やシソ、蜂蜜、あるいは蒸留酒で漬ける

《解き方》イラストをヒントにして、二重ワクの６文字をうまく並べてできる言葉は？

（作・モロズミ勝）

◎9月号の答えは「ラジオタイソウ」でした。当選者の発表は、発送を持って変えさせて頂きます。引き続き機関紙のご愛読をお願いします。

1/2985

土建の教宣部に入り見識が広がった

広田紀夫さん 68才（志木）

今回は、志木分会の広田紀夫さんを紹介します。昭和26年4月台東区御徒町に祖父・父親ともに大工の4人兄弟の3男として生まれ、2才の時に北区王子に転居。王子駅から都電で一つ目の停留所から歩いて1分の所だそうです。引っ越した当時の家は、まわりに数軒の家があるだけでほとんど畑。あちらこちらに肥ダメがあったそうです。

分会教宣部長・４班班長です

学校を出てアサヒのマークでおなじみの長ぐつを作っているアサヒコーポレーションという総合靴メーカーに就職し、販売、出荷調整、お客様相談室など担当、会社の倒産で退職し、半年間新小岩にある職業訓練所で造園、ブロック積みなど研修。卒業したが実経験がないので仕事は見つからず仕方なく、診療所受付や専門学校事務などを転職、2年後に光が丘公園を管理する造園会社に入社、その後2～3社をへて現在に至っています。

桐屋造園にいた時、前幸町分会長の信田さんが仕事仲間で、勉強になるからと勧められ分会教宣部長になったそうです。土建に入って良かったのは、「教宣部に入って政治などにも興味がわいて世の中の事が少しわかる様になった事と仲間がたくさんできて楽しい事です。これからも色々な事に首をつっこんで見識を広げて行きたい」と語っていました。

【花の木　高橋洋】

我が家のアイドル

谷本 蓮くん 14歳・昴くん 11歳

お父さん　谷本　康さん（黒目川）
明日美さん

ひとこと：長男・次男仲良しです！
サッカー頑張ってます！

我がふるさと

～福岡県北九州市小倉～

福岡県の三大祇園祭である博多祇園山笠、戸畑祇園大山笠、と今月紹介する、小倉祇園太鼓。北九州市小倉で7月10日から12日まで3日間行われます。廻り太鼓と台に設置された太鼓を叩く「据え太鼓」があり、江戸時代に小倉城内にある、八坂神社の例大祭で25ある町内単位で山車を出して各町内を子どもたちが「あっやっさ　やれやれやれ」と掛け声で引いて廻ります。太鼓は皮の張り方によい、低く腹に響く音がする面を「ドロ」、もう一面を「カン」で高い軽やかな音で、表と裏と音色が違う太鼓を2人で打ち鳴らします。山車の前と後に据え付けた太鼓を4人で動く山車を、蝶の様に舞いながら打ち鳴らし、調子をとるジャンガラが加わって町内を練り歩きます。3日目の最後に太鼓広場で、据え太鼓と廻り太鼓のそれぞれ競演が行われ、その年の優秀賞が決められます。昭和33年に三船敏郎主演の「無法松の一生」が公開され小倉祇園太鼓が全国に広まることになり、村田英雄の歌が今でもカラオケで歌われています。ＪＲ小倉駅前広場に「祇園太鼓を打つ少年像」が建立され、平成31年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。

【根岸　岩渕　信雄】

小倉両面打ち太鼓

「曲川の大杉」

山形県最上郡鮭川村小杉にある樹齢約1000年の大樹。根周り6.3m、樹高約20 m、枝張17mあり、根本から三又状に幹が分岐している。「となりのトトロ」のトトロに似ている事で有名である。

夫婦杉、縁結びの木、子宝の木とも言われ、パワースポットとしても知られ、根元には山神様が祀られている。

宗岡分会　栗田伴春